

# 新型コロナウイルス感染症への対応

102-12, 102-15, 103-1, 103-2, 103-3

花王では、社員と家族、お取引先・お客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまの安全と健康の確保を最優先課題とし、感染拡大防止に努めています。

清潔・衛生を研究し、関連する製品をお届けしてきた企業として、衛生的な暮らしを守るために必要な衛生関連製品の供給と、生活に役立つ衛生情報の発信に向けて、行政・学会・工業会・関連企業の皆さまとともに、グループ一丸となって取り組み、生活者の皆さまの暮らしを守ることをめざしています。

## 社会的課題と花王が提供する価値

### 認識している社会的課題

新型コロナウイルス感染症の拡大は、社会・経済活動や世界の人々の暮らしに引き続き大きな影響をもたらしています。世界各国でワクチン接種が進むものの、変異ウイルスの拡大により、多くの国や地域において流行が繰り返されており、感染症の収束と世界経済の回復には年単位の時間を要し、不透明な事業環境が続くことが予想されています。

また、世界の人々の暮らしにおいても、長きにわたり日常生活に多くの制約を受けている状況に変わりはなく、消費、働き方など、社会全体が変革を余儀なくされており、大きな転換期であると言えます。この先もこのような状況が続く可能性に対して多くの人々が不安を抱えています。

### 「2030年までに達成したい姿」の実現に関わるリスク

当社グループは2030年までに達成したい姿として、持続的な利益ある発展と社会のサステナビリティへの貢献との両立によって『グローバルで存在価値ある企業「Kao」』をめざします。新型コロナウイルス感染

症の解決に向けては、変異ウイルスの出現など、今後も多くの未知なる課題が山積しており、このような不透明な事業環境が続くことは、「持続的な利益ある発展」を実現する上で大きなリスクとなります。

### 「2030年までに達成したい姿」の実現に関わる機会

新型コロナウイルスなどの感染症に対して、清潔・衛生に関わる知見と製品を提供し、今後、さらに感染症対策・予防領域を強化することは、世界の多くの人々の暮らしに安心をもたらす「社会のサステナビリティへの貢献」を実現する上で機会となります。

### 花王が提供する価値

これまで清潔・衛生を研究し、関連する製品をお届けしてきた企業として、感染症への対応を通して、世界の人々が、より清潔で、健康に、安心して年齢を重ね、自分らしく生きられることに大きく貢献できると考えています。

### 新型コロナウイルス感染拡大による花王への影響とリスク

当社グループの主要市場である日本の化粧品市場は、各地で続いた緊急事態宣言の影響が大きく、回復の力

強さは見られない状況にあります。

新型コロナウイルス感染症の拡大と生活者の変化に伴うリスクは次のようなものがあり、適切な対応ができない場合、目標とする売上高、利益から大きな乖離が生じる可能性があります。

- ・感染力の高い変異ウイルスの影響等による、当社グループ拠点やサプライチェーン上での集団感染(クラスター)の発生、または、国や自治体からの要請に伴う、操業の一時中断や製品・サービス提供への支障
- ・リモートワークができない業務が原因となる商品開発や発売計画の遅れ
- ・感染再拡大や長期化による、化粧品市場等の回復の遅れ
- ・生活者の意識や価値観の変化、消費行動の変化への対応不足による競争力の低下

### 貢献するSDGs



# 新型コロナウイルス感染症への対応

102-15, 102-43

## 方針

新型コロナウイルス感染症への対応として、緊急事態対策本部会議を開催し、「リスクおよび危機管理に関する基本方針」に示された対応の優先順位(1. 人命尊重、2. 環境保護、3. 操業維持、4. 資産保持)に基づき、社員と家族の安全確保、事業活動の継続を中心に対応方針を決定しています。

## 教育と浸透

新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化に対して、社内ポータルサイト等を通じて、新型コロナウイルス感染症の特徴、効果的な感染防止策、ワクチン接種の有効性などをエビデンスに基づき、わかりやすく発信し、また、感染状況に応じた勤務体制と働き方、プライベートを含めた移動や飲食時の注意点など、職場だけでなく家庭内でも実行すべきポイントの周知徹底を進めています。

## ステークホルダーとの協働／ エンゲージメント

各ステークホルダーの皆さまと、安全と健康の確保

を最優先とし、より清潔で安心な社会の構築への貢献を目的として協働を重ねてきました。

- ・国や自治体と連携することで、職域接種の実施や感染者・濃厚接触者発生時の迅速な対応などに努めました。
- ・衛生関連の研究者、医療関係者等の専門家の皆さまとは、科学的知見に基づく感染対策等に関する情報交換を通じてお互いの活動の質的向上に取り組みました。
- ・取引先の皆さまとは、お客さま・社員の安全・健康を最優先として、感染対策等に関する知見の積極的な共有と協議に基づき事業活動を進めました。

## 体制

花王では、危機が発生した場合、グループ全体に及ぼす影響の重大さから、危機対策チームの責任者が緊急事態レベルを評価し(事故・災害、感染症などの事象発生時にはレベル1~3で評価)、レベルに応じた対策組織を設置し対応します。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行に対しては、緊急事態のレベルを最高の「レベル3(全社的な影響、経営に影響がある事態)」と判断し、緊急事態対策本部、緊急事態対策本部事務局、感染症対策チームを2020年2月に設置して取り組んでいます。

緊急事態対策本部は、代表取締役 社長執行役員が本

部長を務め、緊急事態対策本部会議で花王グループ全体の対応方針を決定しています。緊急事態対策本部事務局は、花王グループ全体の状況と対応のとりまとめを行ない、感染症対策チームは、具体的な対応策の策定と対応の周知徹底を推進します。また、2020年7月に発足した「感染症リスクアセスメントプロジェクト」は、エビデンスに基づく感染防止策をグローバルで発信、また、現場の感染対策強化の支援を行なっています。取締役会はこれらの対応を承認しています。

→ リスクと危機の管理 > 体制  
P270

# 新型コロナウイルス感染症への対応 102-15

## 2021年の実績

### 実績

緊急事態のレベルを最高の「レベル3」として、緊急事態対策本部会議(本部長:代表取締役 社長執行役員)を開催し(11回)、社員と家族の安全確保、事業活動の継続を中心に対応方針を決定し、取り組みました。取締役会はこれらの対応を承認しています。

### 社員と家族の安全確保

- ・国や自治体の方針、または、感染状況に応じた勤務体制、働き方(リモートワーク・在宅勤務の推進、出張制限、研修・イベント・見学の制限等)を「危機管理措置」として実施
- ・社員と家族における感染者・濃厚接触者等の状況を把握し、対象者のケアとクラスター発生防止対策を各国拠点で実施
- ・社員と家族に対するワクチンの職域接種を実施
- ・感染拡大国や地域における、感染防止対策の強化

### 事業活動の継続

- ・サプライチェーンの維持のため、原材料調達活動に加えて、生産現場では一段高い感染防止策を実施し、委託先等にも展開
- ・リモートワークのための業務のデジタル化の一層の推進

- ・リモートワークなどの新しい働き方に対する会社制度の見直し
- ・当社グループ会社間の連携強化による事業継続活動を実施

また、次のような社会貢献活動を行ないました。

- ・医療従事者に向けた花王グループ製品セット無償提供の継続
- ・小学校低学年向けに「新・衛生習慣化プログラム『みんなで手あらい』」を実施(教材提供)
- ・ウェブサイトを通じて、専門家や花王の知見に基づく生活に関わる衛生関連情報を提供。また、衛生関連研究者、医療従事者、教育機関の保健師等の方々に向けて、論文等の専門的知見に基づく感染防止策を含む幅広い情報を提供

### 社員の意識、感度の向上

新型コロナウイルス感染症拡大の長期化に対する社員の意識、感度の継続的向上を目的として、次のような活動を実施しました。

- ・「危機管理措置」と連動して、社長から全社員に向けてメッセージを発信
- ・ワクチン接種の有効性と注意点、就業上の支援内容を発信

- ・社員が安心して業務を行なえるよう、オフィス・会議室の利用人数、換気、感染対策等から感染リスクを、スマートフォン等を用いて評価できるツールを開発
- ・全社員に対して感染対策に関するアンケートを実施し、個人の感染対策の強化ポイントをフィードバック
- ・リモートワーク、在宅勤務、ワクチン接種などに関する、情報セキュリティ、個人情報保護、コンプライアンス上の注意点など、1年を通して新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うさまざまなリスク関連情報を発信

### 実績に対する考察

昨年に続き、経営陣主導のもとでの全社一丸となった迅速な対応により、社員と家族の安全確保と、衛生関連製品を継続的に供給する等の社会的責任を果たすことができました。また、社会に対してもこれまで清潔・衛生を研究し、関連する製品をお届けしてきた企業として、製品の継続的供給に加え、生活に役立つ衛生情報の発信を通じて、生活者の皆さまの暮らしを守ることに貢献できました。

今後も新型コロナウイルス感染症への対応を引き続き行なうことを通じて、生活者の皆さまの暮らしを守ることをめざしていきます。